

心翔生

(しょうせい)

「綱領」「指針」を採択

9日 回会
会 員 誌

元年度は組織強化に重点



前年度に向けて役員を選べる第10回元年度会合

総会には各会員青年部の代表者、代理出席者ら約五十人が出席。冒頭、挨拶に立った秋原会長は、「前青連は昭和五十八年四月に発足し、本年度は創立五周年、これを記念すべき年にもなる。これを記念して本年度は各種の記念事業を実施して来た」と前置きし、創りうるべきこと、引継ぎへの準備をスローガンに掲げて取り組んで来た本年度の事業内容をほめて前青連活動の取り組み方などについて述べた。

このあと六十三年度各委員会からの報告が行われ、総務はじめ広報、経理、組織強化、特別の五つの委員会代表から本年度に取り組んだ事業について報告があった。引き続き議事に入り、平成元年度事業計画(案)及び収支予算(案)を審議、いずれも原案通り承認された。このうち、予算規模は千四百二十九万五千円と前年度比二十一万九千円の増となり、平成元年度の事業としては前青連の組織強化に重点を置き、前青連加入青年部等との親善交流を積極的に開催して加入を呼び掛けたいと、六十三年度特別委員会でも決定した「青年部活動への推進」などのフォロアップのたぐい元年度も引き続き特別委員会を設け、親善交流を組んでいくことになった。

このあと、議長(高野会長)から、「前青連青年部」の「綱領」「指針」について本総会に提案し、採択したい、旨の提案があり、審議した結果、原案通り採択された。この「綱領」「指針」については、「青年部活動への推進」とともに「元年度特別委員会」の普及とPの手法等を検討していくことになった。

また、続いて行われた平成元年度役員選出の議では、西田徳雄委員長から、当該年度に限り

が、商工会議所活動に対し積極的に参加することを期待でき、引継ぎの土壌となる前青連のメンバーが次代の地域リーダーとして、自らの役割について認識を深め、新しい世紀に向けて地域の特色を踏まえた発展の輪を築くことには深い期待を込めてあります。次代の地域リーダーとなる前青連青年部は、転機期の時代を先取りする斬新なアイデアと行動力をもつ、常に経営能力の向上に努め、事業を成功させることが目標であり、それがそれぞれの地域の活性化に力を結集し、魅力ある地域の創造に貢献を考へなければなりません。

平成元年度 会長あいさつ

石川 正一
平成元年度前青連会長



平成元年の記念すべき年に、設立から7年目を迎える全国商工会議所青年部連合会(前青連)の組織強化と高成長を目標とする。前青連活動の充実を基本に、皆様と共に考え、共に活動する機会を得ましたことは、この上ない光栄の至りです。

平成元年度 商青連年間スケジュール (予定)

- H1. 4. 6日 第35回役員会 (東京)
- 6. 7日 第36回役員会 (東京)
- 7. 27日 第37回役員会 (東京)
- 8. 2日 近畿ブロック運営研究会 (津本)
- 8. 27日 九州ブロック運営研究会 (別府)
- 9. 2日 四国ブロック運営研究会 (西条)
- 9. 8日 関東ブロック運営研究会 (桐生)
- 9. 11日 中国ブロック運営研究会 (益田)
- 9. 13日 東海ブロック運営研究会 (岡)
- 9. 22日 北陸信越ブロック運営研究会 (高岡)
- 10. 1日 東北ブロック運営研究会 (青森)
- 機関紙「翔生」(第7号) 発行
- 10. 6日 第38回役員会 (東京)
- 11. 18日 第39回役員会 (高知)
- 11. 17日 第11回会務総会 (高知)
- 第9回全国大会 (高知)
- 12. 5日 第40回役員会 (東京)
- H2. 1. 19日 第41回役員会 (浜松)
- 2. 8日 第42回役員会 (東京)
- 2. 8日~7日 第7回中央研修会 (東京)
- 2. 7日 第12回会務総会
- 3. 1日 機関紙「翔生」(第8号) 発行

注) 北海道ブロック運営研究会(美瑛)の開催期日については検討中。

わが国のこのような経済環境のもと、地域社会の先導的役割を担う商工会議所の果たすべき役割は、従来のように増して重要になっております。また、各地商工会議所におけるシム立行動力を持った青年経営者

1. 総務の拡充・強化
 - (1) 各地商工会議所青年部の組織強化を高めるために組織の拡充・強化を図る。
 - (2) 各地商工会議所青年部の組織強化と前青連への加入促進。
 - (3) アジア会議の開催。
 - (4) 前青連加入青年部上級の協議会の開催。
 - (5) 前青連加入青年部及び青年部未加入青年部に対し組織強化を図り、未来の日本を築くことのできる力ある青年部活動を展開していくこと。
2. 研修・研究活動の充実
 - (1) 青年部活動を通じて青年経営者としての資質向上を図り、併せて会員相互の親睦と連携を深めるための事業を行う。
 - (2) 同業・異業種及び地域間交流の促進。
3. 広報活動の推進
 - (1) 企業経営者等に対する親睦の輪を広げ、地域社会の先導的役割を担うこと。
 - (2) 青年部活動の活性化を図るため、各地青年部の情報交換を促すとともに青年部活動を積極的にPRする。
 - (3) 機関紙「翔生」の発行・配布。
4. 主要会議・交流会の開催
 - (1) 前青連の運営にかつ関係する各商工会議所青年部の交流を促進するための事業を行う。
 - (2) 日本商工会議所役員会及び各地青年部役員・地区役員との交流会の開催。
 - (3) 全国大会の開催。
5. 政策提言活動の推進
 - (1) 日々変化する社会経済環境の変化に対応し、必要に応じて提言方針に意見・要望活動を行う。
6. 「青年部への推進」等のフォロアップの推進
 - (1) 昭和57年度に各地青年部へのアンケート調査を基に、これまでの「青年部の今後の方針」(報告書)における提言の具体化、前青連への意見・要望等についての検討など、フォロアップを行う。

平成元年度商青連事業計画

(平成元年4月1日より平成2年3月31日まで)

わが国経済は、大きな転換期を期としており、地域社会の先導的役割を担う商工会議所の果たすべき役割は従来にも増して重要になってきている。特に、柔軟な発想とエネルギーを有する青年部活動は、わが国を牽引する重要な役割を担っており、それがそれぞれの地域の活性化に力を結集し、魅力ある地域の創造に貢献を考へなければなりません。

青年部「綱領」「指針」を策定

今、なぜ、青年部の「綱領」「指針」なのか

●設定理由

昭和63年には経済工業会に青年部が設置され、全国青年部に拡大された。そして、商青年部が結成されて5年目を迎えた。

これまでの活動は、新卒の試行錯誤の連続であったと言っても過言ではない。過去の活動の振り返り、これからの新しく設定される青年部のために、そして私たちが活動のバックボーンとなるべきものを何に求めるのか。このことについて、各地青年部でいろいろな議論がなされてきた。青年部の活動は運動と言われ、あくまで地域の

豊かさを発展を促すこと、商工業活動の中で実践するもの、この重点を踏まえ、これが青年部の伝統をつくりあげ、青年部の活動をさらに充実させることである。以上のことから、青年部の「綱領」「指針」を定めるものである。

私たちが青年部の目指すものは、豊かな住みよい地域づくりであり、地元の文化の継承と発展、地域の豊かな発展が、わが国に明るい将来を導くという基本的な認識に立つものである。地域の健全な発展を促す商工業活動の一翼を担うこと、地域の経済的発展が豊かな地域づくりの基礎となることは、我々の責務である。

●青年部活動の基本的な考え方

豊かな住みよい地域づくりには、地元の企業、商工業を確立させることである。そして、その原点は私たちが住みよい地域づくりである。これは、地域の豊かな発展が、わが国に明るい将来を導くという基本的な認識に立つものである。地域の健全な発展を促す商工業活動の一翼を担うこと、地域の経済的発展が豊かな地域づくりの基礎となることは、我々の責務である。

「綱領」「指針」は、基本的な青年部活動のポリシーであり、判断基準である。これを元に全国各地の青年部が、そしてメンバー自身が豊かに住みよい郷土づくりに貢献するならば、わが国の明るい将来が確立されるべきである。

商工会議所青年部

綱 領

商工会議所青年部は
地域社会の健全な発展を図る商工会議所活動の一翼を担い
次代への先導者としての責任を自覚し
地域の経済的発展の支えとなり
新しい文化的創造をもって
豊かで住みよい郷土づくりに貢献する

指 針

われわれ青年部は

- 一、地域を支える青年経済人として 先導者たる気概で研鑽に努めよう
- 一、国際社会の一員であるべき 国際人としての教養を高めよう
- 一、豊かな郷土を築くために 創意と工夫 勇気と情熱を傾けよう
- 一、文化を伝承しつつ 新しい文化の創造に向かって歩を進めよう
- 一、行動こそ時代を先駆けるべき青年の責務と信じ 力を合わせ 国の礎となろう

青年部活動への提言

各地青年部へのアンケート調査結果から

ともしなければ、この意欲は、すべてのアンケートの中で最も高いことができた。この意欲が、

各地青年部へのアンケート調査結果から、さまざまな問題が指摘されている。そして、各地青年部それぞれの活動に大きな特徴があることも事実である。設立からの歴史が長い活動は、さうでもない。これは、日頃よくパーリ活動しているところ、例として、

活動の歴史が長い活動は、さうでもない。これは、日頃よくパーリ活動しているところ、例として、

活動の歴史が長い活動は、さうでもない。これは、日頃よくパーリ活動しているところ、例として、

活動の歴史が長い活動は、さうでもない。これは、日頃よくパーリ活動しているところ、例として、

活動の歴史が長い活動は、さうでもない。これは、日頃よくパーリ活動しているところ、例として、

活動の歴史が長い活動は、さうでもない。これは、日頃よくパーリ活動しているところ、例として、

活動の歴史が長い活動は、さうでもない。これは、日頃よくパーリ活動しているところ、例として、

次に、これからの青年部を考えると、

活動の歴史が長い活動は、さうでもない。これは、日頃よくパーリ活動しているところ、例として、

活動の歴史が長い活動は、さうでもない。これは、日頃よくパーリ活動しているところ、例として、

活動の歴史が長い活動は、さうでもない。これは、日頃よくパーリ活動しているところ、例として、

活動の歴史が長い活動は、さうでもない。これは、日頃よくパーリ活動しているところ、例として、

活動の歴史が長い活動は、さうでもない。これは、日頃よくパーリ活動しているところ、例として、

活動の歴史が長い活動は、さうでもない。これは、日頃よくパーリ活動しているところ、例として、

活動の歴史が長い活動は、さうでもない。これは、日頃よくパーリ活動しているところ、例として、



経営理念

社長には「以和為貴」を掲げており、社内は、もともと協力工場とともども、大変の道を歩めていきたいと思ひます。

島崎味代表取締役
島崎洋子(埼玉県)
常にチャレンジ精神で

女性オーナー いんたびー
常にかつての精神で

経営方針

1. 信用を重んじる。
2. 会社の品位を高く。
3. 時代にマッチした、知識努力により先進産業として

山口に2,200人が集う 第8回全国大会

なあと、主催者を代表して東京都... 山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。



約2,200人が参加した式典



懇談会で記念撮影する石川日商会長と役員全員

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

体験談に深い感銘 岡田日商特別顧問が講演

全国商工会議所青年部連合会の第六回中央研修会が二月九、十日、東京新富町の「財」日本青年館で開催され、全国各青年部の代表者約二百十人が参加した。この研修会には、青年部の果たすべき役割をはじめ青年部活動の討議、管理、人材育成のための教育など、積極的にやって、さらに充実させたいと思ひます。来年は、本社一帯にシミュレーションを取り組んでいくつもりです。平成元年に新たな工場が建設されるのも、何となく感銘を受けるものがあり、活気のあるところ、タイプ・カクシに力をつけてあげたいと思ひます。また、皆様からも愛される会社になりたいと思ひます。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。



「私の野球人生」をテーマに講演する西宮博雄氏

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。



懇談会会場に設置された「カンの本」

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。



あいさつする日商会長(右内は特別顧問を披露する岡田日商特別顧問)

山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。山口大会での歓迎の気持ちを伝えた。

